

## ■優駿スプリント (SII) アラカルト (過去全 15 回の分析)

---

※第 1 回 (平成 23 年) から第 4 回 (平成 26 年) までは SIII として実施  
※記録は令和 8 年 6 月 16 日時点

### ■現在のところ上位人気馬の好走率はやや低め

単勝 1 番人気馬は 3 勝、2 着 4 回、3 着 1 回で、3 着内率が 53.3%、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 4 回、3 着 0 回で、3 着内率が 53.3%、単勝 3 番人気馬は 3 勝、2 着 1 回、3 着 2 回で、3 着内率が 40.0%となっている。単勝 4 番人気以下の伏兵にもしっかり注目しておきたいレースだ。

### ■3 番人気以内の馬が 1~2 着を占めた例は 5 回

過去 15 回のうち 10 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 5 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

### ■浦和所属馬は未連対

所属別の勝利数を見ると、浦和が 0 勝、船橋が 3 勝、大井が 9 勝、川崎が 3 勝となっている。浦和所属馬は第 6 回 (平成 28 年) でビッグジャイアントが、第 9 回 (令和元年) でトーセンボルガが、第 11 回 (令和 3 年) でジョーロノが 3 着となったものの、2 着以内となった例はまだない。

### ■外国産馬は 2 勝、牝馬は 5 勝

外国産馬の優勝例は、第 5 回 (平成 27 年) のルックスザットキル、第 6 回 (平成 28 年) のエイシンヒートと、これまでに 2 例ある。また、牝馬の優勝例は、第 1 回 (平成 23 年) のミヤサンキューティ、第 2 回 (平成 24 年) のゴールドキャヴィア、第 3 回 (平成 25 年) のハードデイズナイト、第 13 回 (令和 5 年) のフジコチャン、第 15 回 (令和 7 年) のハーフブルーと、これまでに 5 例ある。

## ■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、御神本訓史騎手、矢野貴之騎手が2勝でトップタイとなっている。

## ■ 調教師別の歴代最多勝記録も「2」

調教師別の勝利数を見ると、荒山勝徳調教師、鈴木啓之調教師、藤田輝信調教師が2勝でトップタイとなっている。

## ■ どちらかと言えば内寄りの枠番が優勢

枠番別勝利数を見ると、3枠と4枠（各3勝）がトップタイ。1枠、2枠、6枠（各2勝）が3位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別勝利数を見ると、3番、5番、8番、11番（各2勝）がトップタイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は4番、9番、12番、14番、15番である。

<伊吹雅也>